

障害者の旅どうすれば

22日 熊本市でフォーラム

福祉団体や旅行会社などでつくる「もっと優しい旅への勉強会」(本部東京)は二十二日、障害者らの旅行について考える「もっと優しい旅へのフォーラム」を、熊本市山室の熊本機能病院地域交流館で開く。

同会は一九九一年発を旨し毎月勉強会を足。「だれでも、自由 開催している。フォーラムは年一回で、地方開催は初めて。

第一部は、勉強会代表で両足に障害のある黒崎隆弁護士(玉名市出身)と、熊本学園大

社会福祉学部教授の東俊裕弁護士が、障害者の権利条約について対談する。

第二部は、熊本市で障害者や高齢者向けの旅行代理店「旅のよろこび」を営んでいる宮川和夫代表(四五)らを交

えたシンポジウムがある。

当日は午後一時からのフォーラムに先立ち、午前九時から熊本城を視察し、文化財の保護とバリアフリー化の両立について考える。

だれでも参加でき、参加費はいずれも五百円(入園料、資料代)。「旅のよろこび」 ☎096(345)0811。(林田賢一郎)



本丸御殿下の急坂。車いすを押すのも数人がかりだ。熊本市

熊本城観光

「もっと優しい旅へのフォーラム」では熊本城を視察する。実行委メンバーで、三年前



にユニバーサルデザインを理念とした旅行代理店「旅のよろこび」を立ち上げた宮川和夫さん(四五)にバリアフリ

旅行代理店「旅のよろこび」 宮川和夫代表

御殿までアクセス課題／天守閣に昇降機を

一の観点から熊本城観光の現状と課題を聞いた。

「バリアフリーの考えを取り入れた本丸御殿は見学しやすいが、ロープが五月に撤去されれば必ず通らねばならぬ課題」と指摘する。約三百坪の行幸坂など坂道の多さや、頼当御門から天守閣前広場までの道のりを例に挙げて、「車いす利用者や高齢者は一苦労す

守閣に昇降機があれば

「目玉」になり得る」人を呼ぶためのインターホンをつけるなど、ソフト面では難しいが、部分が多い」と助言している。